⑷　地質調査業務
①　技術士法による第２次試験のうち技術部門を建設部門（選択科目を土質及び基礎とするものに限る。）又は応用理学部門（選択科目を地質とするものに限る。）とするものに合格し、同法による登録を受けている者
②　一般社団法人全国地質調査業協会連合会の行う地質調査技士資格検定試験に合格し、登録を受けている者
⑸　補償関係コンサルタント業務
②　不動産の鑑定評価に関する法律（昭和38年法律第152号）による不動産鑑定士の登録を受けている者、土地家屋調査士法（昭和25年法律第228号）による土地家屋調査士の登録を受けている者、司法書士法（昭和25年法律第197号）による司法書士の登録を受けている者、一般社団法人日本補償コンサルタント協会の付与する補償業務管理士の資格を有し、登録を受けている者
別表第４（営業年数による付与数値）
35年以上　：30
25年以上　35年未満：25
15年以上　25年未満：20
５年以上　15年未満：15
５年未満：10
別記３　業種別等級区分及び予定価格の範囲
〔掲載順序　業種の区分　①等級：予定価格の範囲　②数値：等級〕
⑴　土木一式工事、建築一式工事
①　Ａ：１億5,000万円以上
Ｂ：5,000万円以上　１億5,000万円未満
Ｃ：2,000万円以上　5,000万円未満
Ｄ：　600万円以上　2,000万円未満
Ｅ：　600万円未満
②　1200以上　：Ａ
1000以上　1200未満：Ｂ
800以上　1000未満：Ｃ
600以上　800未満：Ｄ
600未満：Ｅ
⑵　⑴以外の工事
①　Ａ：1,000万円以上
Ｂ：　400万円以上　1,000万円未満
Ｃ：　400万円未満
②　950以上　：Ａ
700以上　950未満：Ｂ
700未満：Ｃ
⑶　測量、建築関係建設コンサルタント業務、土木関係建設コンサルタント業務、地質調査業務及び補償コンサルタント業務
①　Ａ：1,000万円以上
Ｂ：　200万円以上　1,000万円未満
Ｃ：　200万円未満
②　230以上　：Ａ
170以上　230未満：Ｂ
170未満：Ｃ

招　請

資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。
令和８年11月11日
国立大学法人東北大学副学長　伊豆　仁志
◎調達機関番号　415　◎所在地番号　04
○第８号
１　調達内容
⑴　品目分類番号　24
⑵　導入計画物品及び数量　自律自動超高真空スパッタ成膜装置　一式
⑶　調達方法　購入等
⑷　導入予定時期
令和９年４月以降
⑸　調達に必要とされる基本的な要求要件
Ａ　リボルバー式10元スパッタチャンバー　一式
ａ　主排気系：ターボ分子ポンプ＋ロータリーポンプとなっており、ターボ分子は水冷方式であること。
ｂ　到達真空度：５×10^{-7}Ｐａ以下の圧力となっていること。
ｃ　ターゲット数：真空を破ることなく、10個のターゲットが利用可能であること。
ｄ　カソード：ＤＣ方式、ＲＦ方式およびその併用が可能で、基板面に対して垂直入射配置での成膜が可能であること。カソード数は１個とし、真空中でのターゲット交換が可能であり、これに要する時間が１分以内となること。
ｅ　傾斜膜厚成膜用リニアシャッター：傾斜膜厚成膜が可能となるよう、リニアシャッターを有していること。リニアシャッターは基板下シャッターとの干渉がないようになっていること。
ｆ　マニピュレーター：面内回転、上下、加熱、冷却の各機能を有していること。
Ｂ　ＳＴＭ（走査型トンネル顕微鏡）チャンバー　一式
ａ　主排気系：ターボ分子ポンプ＋ロータリーポンプとなっており、ターボ分子は水冷方式であること。
ｂ　到達真空度：５×10^{-7}Ｐａ以下の圧力となっていること。
ｃ　ＳＴＭ：ボルトオンタイプのＳＴＭをチャンバーに接続すること。また必要に応じて除震対策を行うこと。
Ｃ　同時スパッタチャンバー　一式
ａ　主排気系：ターボ分子ポンプ＋ロータリーポンプとなっており、ターボ分子は水冷方式であること。
ｂ　到達真空度：１×10^{-5}Ｐａ以下の圧力となっていること。
ｃ　カソード：ＤＣ方式、ＲＦ方式およびその併用が可能で、少なくとも４元同時スパッタが可能なこと。
Ｄ　トランスファーチャンバー　一式
ａ　各部屋間のロボットによる試料ホルダーの真空中搬送を行う中核チャンバーであること。
ｂ　最大４チャンバー以上の接続が可能な接続ポートを有していること。
ｃ　排気系：ターボ分子ポンプとロータリーポンプの組み合わせとなっており、ターボ分子ポンプは水冷・磁気浮上型であること。
ｄ　到達真空度：１×10^{-6}Ｐａ以下の圧力となっていること。
ｅ　ロボットには、昇降・旋回・伸縮の機能があり、ティーチング機能により接続された各室間で試料ホルダーの自動搬送及びマニピュレーター（ある室の場合）への設置・回収が可能となっていること。
Ｅ　ロードロックチャンバー　一式
ａ　主排気系：ターボ分子ポンプ＋ロータリーポンプとなっており、ターボ分子は水冷方式であること。
ｂ　到達真空度：１×10^{-4}Ｐａ以下の圧力となっていること。
ｃ　サンプルストッカー：φ２インチ基板用のサンプルホルダーを５個以上収納可能なこと。
Ｆ　制御系ＰＣ・ＰＬＣ　一式
ａ　数量：各種基本動作・インターロック機能を有するＰＬＣ内蔵排気コントローラー　一台、ＰＣ　一台を有すること。
ｂ　ロボットによる試料ホルダーの自動搬送、リボルバー式10元スパッタチャンバー、同時スパッタ室、ロードロックチャンバーの真空排気・成膜・基板加熱・基板冷却等に関する操作については全て制御用ＰＣからの制御が可能となっていること。
２　資料及びコメントの提供方法　上記１⑵の物品に関する一般的な参考資料及び同⑸の要求要件等に関するコメント並びに提供可能なライブラリーに関する資料等の提供を招請する。
⑴　資料等の提供期限　令和８年12月14日17時00分（郵送の場合は必着のこと。）
⑵　提供先　〒980―8577　仙台市青葉区片平２－１－１　東北大学財務部調達課調達第一係長　河村　紘明　電話022―217―4869
３　説明書の交付　本公表に基づき応募する供給者に対して導入説明書を交付する。
⑴　交付期間　令和８年11月11日から令和８年12月14日まで。
⑵　交付場所　本公告の日から東北大学財務部調達課ホームページ（https://www.bureau.tohoku.ac.jp/keiyaku/kouhyou/）において、電子ファイルにて交付する。